

2021年度 授業改善アンケート第3Q「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	第3Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。パワボ資料は今後もわかりやすいものを作成するよう心掛けていきます。好評だったグループディスカッション（近所トーク）は、感染防止に心がけながら今後も取り入れていきます。授業の理解度のばらつきにも考慮しながら、今後もわかりやすい授業の展開を心がけていきます。
児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	第3Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。好評だった質問に基づく前回授業の振り返りや事後学習等に利用できるように授業の録画は、今後も取り入れていきたいと思えます。パワボ資料については、授業の進捗状況を踏まえながら早めにアップを心がけます。
社会的養護Ⅱ	第3Q	飯浜 浩幸	授業アンケートへのご協力ありがとうございました。事例に基づくグループディスカッションはもちろんのこと、好評だったロールプレイングやサイコロでも次の授業でも取り入れていきたいと思えます。
国際経済論 (M)	第3Q	小早川 俊哉	今後も授業内容を精査し、興味関心の持てる題材を例として授業構築するよう努力します。
国際経済論 (S)	第3Q	小早川 俊哉	出席を呼んで行くと時間の無駄だ。との意見がありました。試験以外での評価点があることから、シラバスでも説明したように、授業参加していない学生（寝ている、スマホをいじっている、など）の確認を行っています。パワーポイントは板書するためのものではなく理解の助けであり、自身の言葉で配布プリントにメモをして、復習としてノートをまとめる（調べる、本を読むなどを含む）ことが必要と授業中繰り返し説明したはずですが。
聴覚障害教育総論	第3Q	荒木 広式	毎回「授業テーマ」を設定し、構想(グループワーク)⇒講義(情報収集)⇒思考⇒表現の過程を通して、判断力や表現力の醸成を培う授業を展開し、効果があったと考えます。今後も学生一人一人のニーズを大切にするとともに、聴覚障害教育の最新情報や教育現場のエピソードを紹介するなど、さらに興味のある授業づくりに努めます。
民法 (S)	第3Q	大倉 司	「学生は事前に注意されていた点について突然叱り始めても驚かないと思います。そういうレベルの学生が相手だと覚悟した上で何度か注意していくべき」との意見を頂きました。3年生の少人数の授業で居眠りや授業と関係ない行為をしている学生に注意をせざるを得なかったことを極めて残念に思います。
社会学入門 (S・D・A)	第3Q	松下 守邦	履修学生53名、感染症対策をとり、大講義室で実施しました。動画、関連記事等はデジタル提供、Teamsファイル掲載しました。テキスト内容に照合させて「考える社会学」ができるよう授業改善にとりくみます。本アンケート、各授業Forms回答をふまえながら教材精選につとめていきたいと思えます。
社会学と社会学シム	第3Q	松下 守邦	火曜4講目、金曜2講目の週2回授業構成にて授業実施になりました。授業2時間を1ユニットとしてまとめ、土曜日曜日にはTeamsにおいた資料、動画閲覧の学習を義務づける、授業外学習を評価ポイントとしました。テキストの関連事項はプリント読解をもとめるものでした。授業Formsコメントには「重要な部分をノートに書くこと」「大切なところは3回繰り返して読み上げる」など、高校の学びとは異なる授業スタイルになりましたが、専門科目必修科目の学修理解がたかまるよう授業改善に努めてまいります。
北海道誌 (S)	第3Q	渡部 斎	コロナ禍、満足する講義を提供することを心掛けていきたいと思えます。
人文地理学Ⅱ (S)	第3Q	渡部 斎	コロナ禍、満足する講義を提供することを心掛けていきたいと思えます。
肢体不自由教育Ⅰ	第3Q	坂上 俊樹	受講生の9割以上が、授業内容を理解し、興味を持ってくれたようである。しかし、授業内容に満足できず、興味も持てなかった学生もいる。授業内容・方法について、さらに研鑽し、すべての学生が満足できる授業に近づけたい。
スクリーンワーク論	第3Q	上原 正希	教科書の活用と事例などを交えて授業を展開しました。より実践的な話をできるようにしたいと思います。
子ども家庭支援論	第3Q	杉本 大輔	学生たちの理解を確認できなかった。猛省する。
人体の構造と機能及び疾病	第3Q	中村 則子	医学用語が多いため、個人の事と関連させ理解しやすく、また、テキスト活用が進むよう心がけていますが不十分なようです。学習箇所への強調、授業の進め方、伝え方など今後さらなる工夫が必要と考えています。
外国の歴史	第3Q	横田 肇	理解を求める授業を展開したつもりであったが、一部、不平・不満があったのは残念である。いつもそうであるが、大人数での講義科目であるので、やむを得ない点はあるが、できる限りの改善を図りたい。マイクを通しての音が聞きづらい等の物理的要因は早速改善したい。
基礎英語Ⅱ (SDA-3)	第3Q	横田 肇	概ね理解ができたようであるが、一部、不平・不満が残ったことは残念である。語学の授業としては人数が多いので、物理的要因で十分な授業ができなかった点は今回同様であった。マイクの音が聞きづらい等の早急に改善できる点は改善したい。他、引き続き、改善に努めたい。
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	第3Q	佐々木 智城	授業の資料は精神疾患に関連した図解の資料、DVD等を用いて見えにくいものを見えやすくし、理解が進むようにしました。毎回、前回の授業での質問への回答をして振り返りをし、理解と記憶の定着を進めました。今後も動画等を用いてわかりやすく進めていきます。
発達心理学Ⅱ	第3Q	佐々木 智城	パワーポイントや動画、図解入りの資料等を用いて授業を行っています。そして、毎回、授業の初めに前回の振り返りを行い、記憶の想起、定着を行ってわかりやすく進めています。今後は授業途中での振り返りも含めて進めたいと思えます。
精神保健の課題と支援Ⅱ	第3Q	佐々木 智城	授業はテキストの資料の他に、DVDや図解入りの資料等を用いてわかりやすく進めています。今後は授業の全体像と当日の授業内容とのつながりなど、更に見通しが持てるように図式化していきます。
病弱者の心理・生理・病理	第3Q	高橋 健剛	授業内容に関して、より一層興味・関心を高めるような工夫をしていく。また、PowerPointや動画等を活用して、より効果的に学ぶことができるように検討していきたいと思えます。
レクリエーション概論	第3Q	尾西 則昭	評価ありがとうございます。今回もまだまだ足りないところ指摘されておりますので興味、関心を持っていただけるように努めたいと思えます。

基礎英語Ⅱ (SDA-1)	第3Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「先生が理解が出来ていない学生に対して真摯に向き合っている所を見ていたし、私も分からなかったことを丁寧に教えて頂き、理解度が格段に上がった。」「それぞれの人の理解に合わせて、しっかりと質問などの時間を作っていただき、不明な点なく授業をすることができました。ありがとうございました。」「とても、いい先生に出会えて良かったです。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
教育史	第3Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が98%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「グループワーク等生徒に自主的に活動させる講義は中々ないので非常に理解度が上がる講義内容であった。」「内容の濃い授業が受けられて良かったです。興味関心を持つことが出来ました。」「授業に、対する姿勢をしっかりと見極めてくれていたので教員になるならこのくらいは普通だと実感させていただける授業でした、とてもためになりました。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
相談援助の理論と方法Ⅳ (M)	第3Q	大島 康雄	興味が持てるような内容にしてみたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。
相談援助の理論と方法Ⅳ (S)	第3Q	大島 康雄	誤字の指摘がありました。忙しさは理由にならないので今後改善していきたいと思います。
言語表現	第3Q	吉江 幸子	「言語表現」を受講していただきありがとうございました。子どもの言葉の獲得には聞く力が必要です。学生の皆さんにも聞く力、それを表現する力が求められます。今回の授業では、地域交流を通して保育園児との交流や高齢、障害者との交流も体験しました。このような体験が受講していただいた学生の皆さんの表現力につながることを期待しております。
乳児保育Ⅱ	第3Q	吉江 幸子	「乳児保育Ⅱ」を受講していただきありがとうございました。アンケート評価も高評価をいただき、今後の励みとなります。乳児保育Ⅰの講義を土台として実技演習を展開しました。乳児の健康と安全を守り、情緒の安定を図るための演習授業でした。今後の保育活動に生かされることを期待しております。
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	第3Q	西野 克俊	授業アンケートの回答ありがとうございました。全体の満足度として69%が「とても満足できた」と回答していただき、残りは「充分満足できた」が23%、「満足できた」が8%と全体的に満足していただけたと感じておりますが、授業満足度の向上を図るべく、引き続き自己研鑽を深め授業を実施していきたいと思います。
産業心理学 (M)	第3Q	吉澤 英里	産業心理学 (S)と同時開講でしたので、両方の結果を踏まえてコメントをいたします。概ね、まずまずの評価をいただきましたが、授業内容が興味・関心の持てるものではなかったというお答えもありました。次年度はさらに興味を持ってもらえるような内容へとブラッシュアップします。本アンケート以外にも、授業期間中にコメント・意見を積極的に出していただき、ありがとうございました。
産業心理学 (S)	第3Q	吉澤 英里	産業心理学 (M)と同時開講でしたので、両方の結果を踏まえてコメントをいたします。概ね、まずまずの評価をいただきましたが、授業内容が興味・関心の持てるものではなかったというお答えもありました。次年度はさらに興味を持ってもらえるような内容へとブラッシュアップします。本アンケート以外にも、授業期間中にコメント・意見を積極的に出していただき、ありがとうございました。
相談援助の理論と方法Ⅰ (M)	第3Q	畠山 明子	ご回答いただいた学生の皆さんありがとうございました。引き続き学生の皆さんのより理解度が高まる教材研究を進めていきます。
ワークの理論と方法Ⅰ (S)	第3Q	畠山 明子	ご回答いただいた学生の皆さんありがとうございました。学生の皆さんのより理解度が高まる教材研究を進めていきます。
知的障害者の心理・生理・病理	第3Q	堀川 厚志	1名が配布資料、全体的に満足できないと回答していることから、引き続き、わかりやすいプレゼン資料作成に努めます。
音楽表現Ⅰ	第3Q	小黒 万里子	基本的な音楽理論と実技を短時間で習得する事は大事な事ですが、出来るだけ目標に近づける様に授業を進めております。又、練習時間等については、レベルに応じて考えていきたいと思います。
保育内容総論	第3Q	佐藤 慶知	貴重なご意見ありがとうございました。いただいた意見を参考にさせていただきます、今後の講義内容の改善に取り組んでいきたいと考えております。
社会学入門 (M)	第3Q	山本 一彦	留学生も受講していること、教科書を使用しないことから、板書表記には気をつけたが、概ね良好な結果が得られていた。抽象概念などがよりよく理解されるよう、具体事例の提示、概念図化など、さらに工夫を心掛けたい。
経済学概論 (M)	第3Q	河野 善文	スライドの切り替えなど、ノートを取りやすい授業を今後も意識したいと思えます。また、いま現実には起きている経済の事象について、今後もニュース等を活用しながら解説していきたいと思えます。
経済学概論 (M-SP)	第3Q	河野 善文	スライドの切り替えなど、ノートを取りやすい授業を今後も意識したいと思えます。また、いま現実には起きている経済の事象について、今後もニュース等を活用しながら解説していきたいと思えます。
経済学概論 (S)	第3Q	河野 善文	スライドの切り替えなど、ノートを取りやすい授業を今後も意識したいと思えます。また、いま現実には起きている経済の事象について、今後もニュース等を活用しながら解説していきたいと思えます。
マクロ経済学	第3Q	河野 善文	アンケートのコメントを参考に、今後も見やすい板書とわかりやすい計算の解説に心をかけたいと思えます。
経営管理論	第3Q	信濃 吉彦	概ね高評価をいただいたので良かったです。ノートチェックはこれからも継続していくつもりです。多少の酷評をいただいたとしても止めるつもりはありません。言葉遣いに関しては熱くなり過ぎないよう気を付けます。どんなことに関しても調べるということ、その結果を何らかの形で残すこと(データベース化)を忘れないでほしいです。
ビジネス法務	第3Q	青山 浩之	ビジネス法務は、第3クォーター月曜日4講目と金曜日4講目の科目で、履修者50名、平均出席者41名(平均出席率82%)という状況で、回答者が47名であった。授業の内容は興味や関心が持たかば、とても・充分にと6割を超え、全体的満足度では、とても・充分満足の評価を受けた。将来使おうであろう法律を学べたので良かったとの好評価を受けた。
哲学概論	第3Q	遠藤 均	WEBと対面が交錯し、やり方を試行錯誤する日々が続きましたが、このような状況下でよく頑張ってくれたと感謝しています。
運動学 (運動方法学を含む。)	第3Q	米野 宏	学生からは、良い評価もらったが、試験の結果からみると、理解度が低い。わかりやすい授業の工夫をしたい。

ポスター指導論	第3Q	高井 雅一	受講生が例年の倍近く集まり、プリント学習で課題提出やノート点検が多くあった。授業中、まとめとして質問事項を作り回答してもらったが、発表する人数が限られ、多くの学生からの意見を聞くことができなかった。内容を精査して討議する時間を確保した授業展開を工夫して行きたい。
生徒・進路指導論	第3Q	高井 雅一	昨年は、教科書販売で申込者が少なく、授業の後半に教科書がそろうことになり、授業に支障をきたした。今年度は、教科書を使わず、プリント学習にして行った。準備不足もありプリントの内容を説明する場面が多くなり、グループ学習や意見交換の場が少なくなってしまった。授業内容を改め、進めていきたい。
経営組織論	第3Q	伴 秀実	良い授業評価を頂きました。今後とも興味と理解を深めていけるよう、分かり易い授業に努めていきます。また、マイクの利用の際の音量等については逐次、配慮・改善しながら授業を進めていきます。
経営戦略論	第3Q	伴 秀実	良い授業評価を頂きました。今後とも、より理解を深めていけるよう、分かり易い授業に努めていきます。また、マイクの音量等については逐次、配慮・改善しながら授業を行っていきます。
基礎英語Ⅱ (SDA-6)	第3Q	井坂 肇	授業の構成や内容、ペース配分は適切に行っていたように思う。英語が苦手な学生にとっても授業を受けやすい環境を整えることが出来た。授業の満足度はコメントやアンケートの結果を見ると高かったと思う。しかし、後期は授業中に理解度をチェックする少テストを行ったが、出来はあまり良くなく理解し定着させるまでには至っていなかった。今後は学生のレベルをもっと考慮して授業を構成していきたい。
WEBデザインI	第3Q	近澤 潤	本科目は「Webデザイン」にこだわらず、「ビジネスの現場で求められるデザインとは何か」という広い視野を含め、授業を展開した。また、IllustratorやPhotoshopの基本操作が身についていない学生に対しては、授業時間外で特講を開講しフォローした。演習課題では、戦略性を重視したデザインを要求し、実社会に則した思考の定着を図った。今後の課題としては、Illustrator・Photoshopの基本操作が身についている学生と身についていない学生の差を埋めるための検討・改善を図りたいと考えている。
マルチメディア表現 (2年)	第3Q	近澤 潤	本科目は、マルチメディアの変遷に着目しながら、経営学科生でも「多くの人の目に触れるもの(ポスターや映像など)」が作れるということを、演習課題を通して体感させることを目的として実施した。グループワークを取り入れたことにより、互いに持つ知識が技術を組み合わせることで学修を進められたと思う反面、ひとり一人に対してのフィードバックを十分に行えなかったことを今後の課題とし、改善を進めたい。
イノベーションマネジメント論	第3Q	阿部 裕樹	学生の満足度をより一層高められるように、今後も教材の充実を図っていきたいと思います。また、進行速度についても理解度を確認しながら進めていくように留意します。
ビジネスコミュニケーション論	第3Q	五ノ井 壽一	より理解力を高めるように板書等創意工夫致します。
文章表現演習 (M)	第3Q	津田 昭彦	「文章を書く」という演習の授業において、学生側から「発言させる」という授業になりにくい進め方になってしまうところが反省点です。その分、課題返却時等にできるだけ「会話で説明し、解説する」ということを心がけています。ただし、受講学生数が多くなると、1人の学生に対して費やす時間が3～4分程度になってしまうことが悩みの種です。

トレーニング 科学 II	第 3 Q	篠原 詔介	授業改善アンケートにお答え頂きありがとうございます。 トレーニング科学 II では、1 とは少し異なった形で講義を行っていましたが、多くの学生が理解することができ安心しております。ですが、受講してくれた学生全員が理解できていない部分もあった為、今後においてもなるべく多くの学生に理解してもらえるよう工夫をして改善していきたいと思ひます。
スポーツ生理学	第 3 Q	篠原 詔介	授業改善アンケートに協力して頂きありがとうございます。 スポーツ生理学はなかなか難しい科目ではありますが、途中で諦めずよく頑張りました。今後は、映像や実際に測定などで講義が行えるようにし、学生の理解度がより深くなるよう改善していきたいです。
環境学入門	第 3 Q	吉田 淳一	教室（大講堂）の音響については昨年も同様なコメントがあったが、収容定員（1000人以上）に対して聴講者数（120名前後）が少なく残響が多いため、音量調節の限界である。適切な広さの教室が必要である。コロナのため、レポート作成のためのグループディスカッションができず、個人個人が一人で調査からまとめまでやらざるを得なかったことから、こハードな講義であったと思われるが、学生諸君はよくやってくれたと考える。出席カードの配布については、配布だけで相当の時間がとられることから、学生証を使った電子認証システムを導入すべきであるとする。講義に使用したビデオは、難しい環境問題をステレオタイプな考えから脱却してイノベーティブな視点をもって理解するための副教材であり、一部に古いものもあったが、タイムリーな映像を可能な限り選択したつもりである。また、COP26が講義と同時期に開催されたこともあり、自分自身の問題として理解してもらえたのではないかと考える。講義資料の体裁はより見易い配置やカラーとするようさらに改良が必要であろう。
金融論	第 3 Q	山崎 誠	昨年の授業がわかりにくい、講師がしゃべりたいことを話している、という指摘があったことを踏まえわかりやすさを第一に構成しました。経営情報論同様、①停滞の続く日本経済、②資本主義の歴史、③中国、の3講で基本情報を教え、そのち金融論の本論に入りました。しかし、受講生が4年生で取得単位を満たしている学生はあまり授業内容に興味を示さず、単位が足りない学生はいかに少ない出席、学習で単位を取れるかという受講姿勢でしたので講師の意図はあまり浸透しなかったという印象があります。その点は残念ですが「わかりやすさ」と「最新のトピックス解説」をミックスした内容の授業は提供できたのではないかとと思ひます。
西洋経済史 (M)	第 3 Q	小林 大州介	アンケートにお答えいただき、ありがとうございます。まだまだ改善の余地のある講義内容だと思ひています。今後、もう少し丁寧に教えられような、内容重視の講義設計を目指したいと思ひます。第3Q、お疲れ様でした。
西洋経済史 (S)	第 3 Q	小林 大州介	アンケートにお答えいただき、また貴重なご意見、ありがとうございます。PPTや講義自体のスピードの問題は今後、工夫しながら改善していきたいと思ひます。
日本事情 (留学生)	第 3 Q	佐藤 恵利	今回はハイブリット授業ということもあり、ネット関係やteamsの操作等で学生に迷惑をかけてしまう場面があったことが反省点です。今後の授業の在り方を考え、工夫して邁進していきたいと思ひます。また今後も新鮮な情報を取り入れ、留学生により深く日本文化や日本事情を学んでもらえるよう努めたいと思ひます。
健康科学 (M)	第 3 Q	米野・中川・石井	学生の理解度をもっと頻繁に把握しながら授業を進めていきたい。
デザイン製図 II	第 3 Q	松岡 龍介	この科目は、将来、美術においては幾何学的な立体造形を制作するような事に興味のある学生や、プロダクトデザイナーやインダストリアル・デザイナーとして社会で活躍しようとする学生、あるいは、高校の美術教員（工芸）の教員として指導にあたることを希望する学生たちのための「最初の製図表現」のデザイン製図 I の続きの内容です。三面図や立体図、CG等の表現を学び、誰にでも判りやすい内容で、より具体的な課題を制作します。
基礎英語 II (SDA-2)	第 3 Q	宮嶋 達也	入学当初実施された習熟度のクラス分けについては試験の点数結果だけではなく、本人の要もある程度受け入れながらクラス分けをする必要があると考えております。
美術学概論 II	第 3 Q	伊藤 光悦	美術を創造力という視点からとらえ、AIの時代だからこそより重要になる活動として様々な資料・画像・討論を含めて授業を進めた。アンケート結果を見ると各項目で適切以上という評価が90%後半を占め、概ね興味と理解を示したと思う。出席率の低い学生が一定程度あり、低評価、不認定にならざるを得ない。学生との連絡を密にするための方策の必要性を感じた。
アニメーション I	第 3 Q	梅田 真紀	授業内容については、履修生の興味・関心が高いため、より意義のあるものにできると感じました。教材の用意、課題制作から講評までの時間配分は、改善が必要だと思ひます。
日本政治史 (M)	第 3 Q	金子 敏也	コロナ禍の中で授業を行った教師、授業を受けた皆さんのいずれもが未知の苦勞を経験した期間でした。遠隔授業から得た経験を活かすことを願っております。
日本政治史 (S)	第 3 Q	金子 敏也	コロナ禍の中で授業を行った教師、授業を受けた皆さんのいずれもが未知の苦勞を経験した期間でした。遠隔授業から得た経験を活かすことを願っております。
東洋・日本美術史 II (3年生)	第 3 Q	金子 敏也	コロナ禍の中で授業を行った教師、授業を受けた皆さんのいずれもが未知の苦勞を経験した期間でした。遠隔授業から得た経験を活かすことを願っております。
東洋・日本美術史 II (4年生)	第 3 Q	金子 敏也	コロナ禍の中で授業を行った教師、授業を受けた皆さんのいずれもが未知の苦勞を経験した期間でした。遠隔授業から得た経験を活かすことを願っております。
国際政治論 (M)	第 3 Q	金子 敏也	コロナ禍の中で授業を行った教師、授業を受けた皆さんのいずれもが未知の苦勞を経験した期間でした。遠隔授業から得た経験を活かすことを願っております。
国際政治論 (S)	第 3 Q	金子 敏也	コロナ禍の中で授業を行った教師、授業を受けた皆さんのいずれもが未知の苦勞を経験した期間でした。遠隔授業から得た経験を活かすことを願っております。
建築計画 II	第 3 Q	安藤 淳一	昨年度のご指摘より、授業の進め方については、内容を興味し時間内に説明できるものに修正した。小テストの内容に反故があったことは、大いに反省し再度見直しをし、次年度の課題として修正を進めたい。
住空間計画	第 3 Q	安藤 淳一	一人一人の理解度を確認するための工夫が必要であるとのこと指摘がありました。この意見を大切に、次年度の授業に向け活かすためにも、検討、修正していきたいと思ひます。
統計学入門 (M-2年次)	第 3 Q	伊藤 裕康	話すスピードを少し落として丁寧に話すように心掛けたと思ひます。また、もう少し頻繁に学生の様子を見回り、学生の理解度をより確認するようにしたいと思ひます。

統計学入門 (SDA-2年次)	第3Q	伊藤 裕康	学生の理解状況を確認するために適時見回りを行ってきましたが、もう少し頻繁に見回り、学生の理解度を確認するようにしたいと思います。
建築環境Ⅱ	第3Q	伊藤 裕康	解説の一部を黒板を使って説明していたが、パワーポイントを活用してより分かりやすい内容の教材をつくっていききたいと思います。
建築法規Ⅱ	第3Q	佐藤 善太郎	コロナの関係で授業の進行が少し遅れましたが、法規はⅠからⅣまでで調整していきます。法規Ⅱは集団規定などいよいよ建築基準法の深部に突入する部分です。ここを避けて通ると、将来の「建築士」は見込めません。
建築シラバス論	第3Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。重要専門用語を記入する配布資料は穴埋め式のため、板書がしやすいとの意見がありました。またパワーポイント・建築DVDの視聴は好評との評価がありました。更に改善して良い配布資料を作成していきます。また定期試験以外に中間で小テストなどを実施しては?との意見がありました。シラバス修正も含め検討します。
鋼構造	第3Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。課題提出の是非があいまいであったとの意見がありました。提出の連絡を徹底していきます。教科書の例題と同様な演習問題を解くことでわかり易いとの意見があり、更に内容がよりわかり易いような資料・演習問題を作成していきます。
福祉環境計画論	第3Q	佐々木 哲之	この科目は単元ごと学生の理解度を確認しながら授業展開をしていくため、単元ごと学生が理解・確認のため授業内容の整理の時間を設けている。結果、設問5、設問6では高評価につながったと思う。しかし限られた中での理解度の確認時間と授業進度のバランスが難しくこれからも工夫・努力したい。
建築生産	第3Q	小笠原 健	二級建築士試験4科目のうち、施工分野に属する講義であるが、履修者について、おおむね二級建築士試験レベルまで到達している学生が半数程度見られる。来年度以降も同様な授業スタイルで、養成していきたい。